

（4）過去に発生した主な地震（注4）

1904年以降の活動をみると、今回の地震の周辺（領域c）では、M7クラスの地震が時々発生しており、大きな被害を伴っている。1934年1月15日にはM8.0の地震が発生し、死者10,700人などの被害が生じた。

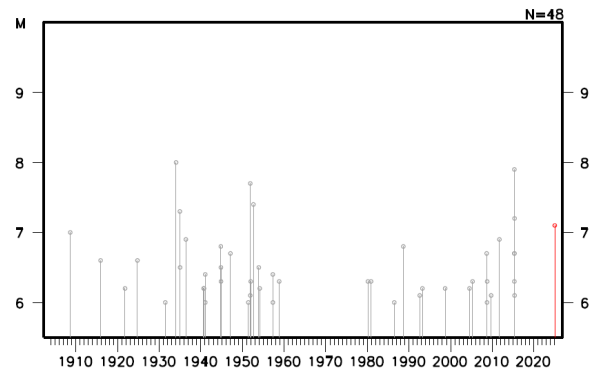
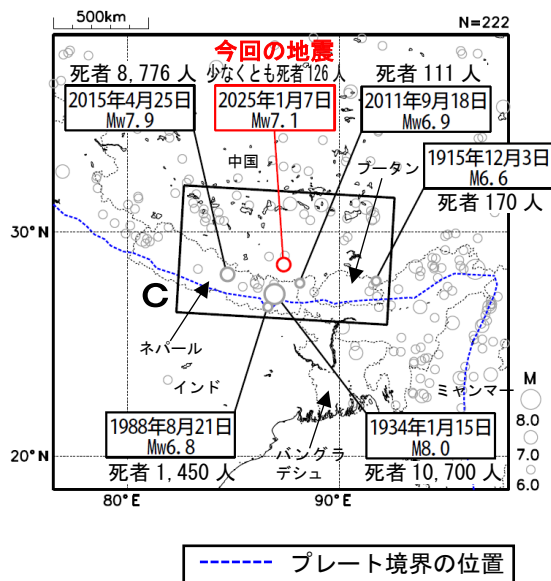


図4-2 図4-1の領域c内のM-T図

図4-1 震央分布図（1904年1月1日～2025年1月31日、深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ ）
2025年1月の地震を赤色で表示
死者100人以上の地震に吹き出しを付加

（注4）震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11（1904～2020）、2021年以降は米国地質調査所（USGS）による（2025年2月3日現在）。ただし、吹き出しのある地震のMwは、1988年8月21日の地震はGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。被害は、今回の地震はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2025年1月16日現在）、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird（2003）^{*1}より引用。

^{*1}参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.